

平成 30 年度 練馬区胃がん検診事業内容

1 胃がん検診事業概要

検査方法	胃部エックス線検査 (バリウム検査)	胃内視鏡検査 (モデル体制)
対象者	30 歳以上の区民	50 歳の区民 ※ 胃部エックス線検査との選択制 ※ 平成 30 年度に胃内視鏡検査を受診した者は、平成 31 年度は区の胃がん検診は受診不可
実施会場	健康診査室 医療健診センター 各保健相談所 石神井庁舎	医療健診センター (火・金・土曜日のみ) ※ 平成 31 年度以降、引き続き対象者・実施会場の拡大検討
受診期間	4 月～翌年 3 月	
受診規模	23,300 人	1,000 人 ※先着順
自己負担金	400 円	2,000 円
周知方法	区報 (2・3・4 月) 区ホームページ 受診勧奨チラシ窓口配布 ねりまちてくてくサプリー 受診対象者への個別勧奨通知	区報 (2・3・4 月) 区ホームページ ねりまちてくてくサプリー 検診対象者への個別勧奨通知 (2/19 送付済み)

2 胃内視鏡検査実施体制

(1) 検査方法

- ・経口内視鏡を使用する。
- ・食道・胃・十二指腸球部までを撮影し、コマ数は 30～40 コマとする。
- ・生検はがんが強く疑われる病変にのみ実施する。
- ・鎮痙剤・鎮静剤は使用しない。

(2) 検査医の資格

- ①日本消化器がん検診学会認定医、日本消化器内視鏡学会専門医、日本消化器病学会専門医のいずれかの資格を有する医師
- ②診療、検診にかかわらず概ね年間 100 件以上の胃内視鏡検査を実施している医師

(3) 読影体制

- ・検査医による一次読影の後、練馬区医師会胃部内視鏡検査導入検討委員会で二次読影を行う二重読影体制とする。

(4) 検診結果の判定区分

- ・「胃がんなし」「胃がんなし（経過観察／治療が必要）」「胃がん疑い」「胃がん」「胃がん以外の悪性病変（疑い含む）」とする。

(5) 結果説明

- ・原則郵送にて検診結果を通知する。
- ・受診者への通知区分は「異常なし」「要経過観察」「要治療」「要精密検査（再検査）」とする。
- ・「要精密検査（再検査）」については対面説明を行う。

(6) 精度管理

- ・精密検査結果把握事業として練馬区医師会へ委託にて実施する。

※ 詳細については、別紙「平成30年度 練馬区医師会医療健診センターにおける対策型胃がん検診のための胃内視鏡検診実施要領（案）」のとおり

3 平成30年度胃内視鏡検査医および読影委員名簿（予定）

・検査実施医師

	所属	医師氏名
1	順天堂大学医学部附属順天堂医院 消化器内科	山科 俊平
2	越谷市立病院 消化器科	中庭 礼智
3	東京山手メディカルセンター 消化器内科	東 馨

・読影委員医師

	所属	医師氏名
1	金田医院	金田 伸章
2	つちやクリニック	土屋 喜由
3	小山クリニック	小山 寿雄
4	医療健診センター	笹川 由美子
5	伊藤内科医院	伊藤 匡
6	光が丘内田クリニック	内田 数海
7	平和台クリニック	千葉井 基泰
8	原田クリニック	原田 昇